

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																						
☑ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。																						
事務事業名	施設維持管理費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	農業集落排水事業特別会計			款	1	項	1	目	1	事業	2		
担当部	都市建設部		担当課	下水道課		担当係	管理係		係	作成者	林 登志彦		内線(電話番号)	2910		シート作成日	H30.10.12			部長決裁日	H30.10.23	
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市都市計画マスタープラン)				根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 浄化槽法, 水質汚濁防止法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)																	

2 事務事業の目的														
☑ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。														
現状課題	供用開始から15年以上過ぎる各水処理センターは、老朽化に伴い機械・電気設備の更新時期を向かえている。 (報恩寺水処理センター:平成6年供用開始, 沖新田水処理センター:平成7年供用開始, 大花羽水処理センター:平成9年供用開始, 大生郷水処理センター:平成12年供用開始, 五箇水処理センター:平成13年供用開始)				誰・何を対象に 農村部における生活環境の改善 どのような方法・手順で 各水処理センターの機能診断調査業務を実施し、その結果から補修・改築の対策工法と対策時期を検討する最適整備構想の策定をする。				望ましい状態 今後の施設の補修・改築等を計画的かつ効率的に取り組んでいくためのマスタープラン(最適整備構想)の策定を行い、その際、複数の処理区施設の統廃合の検討を図っていくことが望ましい。					

3 事務事業の主たる成果指標														
☑ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	ポンプ場正常稼働日数		単位	日		目標値	365		目標年次	平成 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	下水道は生活に欠かせない重要なライフラインのため、短時間の機能停止もゆるされない施設である。	

4 事務事業の実績 ㊦																
☑ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度							
	業務名				業務名				業務名							
	活動量				活動量				活動量							
事務事業を構成する主な業務	① 修繕業務 8件				① 修繕業務 10件				① 修繕業務 12件							
	② 検査・分析業務 3件				② 検査・分析業務 3件				② 検査・分析業務 3件							
	③ 委託業務 8件				③ 委託業務 7件				③ 委託業務 9件							
	④ 工事 1件				④				④							
	⑤				⑤				⑤							
	⑥				⑥				⑥							
	⑦				⑦				⑦							
	⑧				⑧				⑧							
	⑨				⑨				⑨							
	⑩				⑩				⑩							
	⑪				⑪				⑪							
	⑫				⑫				⑫							
目標値に対する実績値 365 日				目標値に対する実績値 365 日				目標値に対する実績値 365 日								
決算額	計		94,392,573 円		計		83,859,430 円		計		93,815,217 円		計		75,285,670 円	
	内訳		特定財源 68,079,810 円		内訳		特定財源 74,750,864 円		内訳		特定財源 75,285,670 円		内訳		特定財源 75,285,670 円	
			一般財源 26,312,763 円				一般財源 9,108,566 円				一般財源 18,529,547 円				一般財源 18,529,547 円	
(住民一人あたりの行政コスト) 1,526 円				(住民一人あたりの行政コスト) 1,379 円				(住民一人あたりの行政コスト) 1,552 円								

5 担当者評価 ㊧													
☑ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標どおり		予防修繕業務や検査・分析業務等の結果を委託業者と共有化することで、より安定した水処理を継続して行うことができた。										
	内容												
問題点	施設の補修・改築等を行いながら、維持管理費の軽減を図っていく。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
☑ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	既存の施設設備・機器の適切な維持管理に努め、老朽化し運用に支障をきたす設備・機器の更新を計画的に実施し、処理場機能の正常運用と保全を継続させなければならない。運営コストや供用人口減に伴う運営費の減少など将来を見据えて、生活排水ベストプラン等による、施設の共同化・広域化・統廃合についても計画的に進める必要がある。												

7 実施計画 ㊩													
☑ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 五箇水処理センター流量調整ポンプ修繕(2台) ●検査・分析業務 水質検査業務, 汚泥肥料分析業務, 浄化槽検査業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務, 火災報知機等保守管理委託業務, 警備委託業務, 電気安全管理委託業務, 汚泥処分委託業務, 管渠清掃委託業務, 処理場維持管理業務履行確認委託業務, 機能診断調査委託業務, 環境整備委託業務 ●工事 五箇水処理センター外構補修工事 				<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大花羽水処理センターNo.11中継ポンプ場ポンプ交換(1台) ●検査・分析業務 水質検査業務, 汚泥肥料分析業務, 浄化槽検査業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務, 火災報知機等保守管理委託業務, 警備委託業務, 電気安全管理委託業務, 汚泥処分委託業務, 管渠清掃委託業務, 処理場維持管理業務履行確認委託業務, 機能診断調査委託業務, 環境整備委託業務, 下水道台帳作成 				<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大花羽水処理センター回分槽ブローア交換(2台) ●検査・分析業務 水質検査業務, 汚泥肥料分析業務, 浄化槽検査業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務, 火災報知機等保守管理委託業務, 警備委託業務, 電気安全管理委託業務, 汚泥処分委託業務, 管渠清掃委託業務, 処理場維持管理業務履行確認委託業務, 最適整備構想策定業務, 環境整備委託業務, 下水道台帳作成 				
	予算額	歳出		計 97,367 千円		歳出		計 102,509 千円		歳出		計 111,343 千円	
		特定財源 73,740 千円				特定財源 77,740 千円				特定財源 76,740 千円			
歳入		一般財源 23,627 千円		歳入		一般財源 24,769 千円		歳入		一般財源 34,603 千円			
		計 97,367 千円				計 102,509 千円				計 111,343 千円			

8 財務アドバイザーの見解													
本事務事業は、特定財源のみによる事務事業である。今後も特定財源のみにより、無駄を省き、費用対効果を最大化する予算の計画と執行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。今後も、計画的に補修や改築を進めていただきたい。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	経営成績や財政状況を把握しながら、処理場機能の正常運用と保全に努めること。												

11 事務事業の改善理由 ㊫													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	最終評価を踏まえ、更なる事業の見直しを行った。												